# トップコミットメント

## 2013年度を振り返って

世界的な経済の回復基調を背景に、従来より進めてまいりました当社の収益改善の諸施策が功を奏し、2013年度のミネベアグループは主力製品であるベアリングなどの機械加工品だけでなく、モーター事業の改善やバックライト事業の拡大などを果たすことにより、業績を大きく伸ばすことができました。その結果、2014年3月期は前年同期に比べ売上高が31.6%増加し3,715億4,300万円、純利益も208億7,800万円となり、2008年3月期を超えてそれぞれ過去最高の業績達成となりました。

これは、CSR基本方針にも掲げている「信頼性が高く、エネルギー消費の少ない製品を安定的に供給し、広く普及させる」こと、すなわち私たちの原点である「真摯なものづくり」を追求してきた結果だと考えています。もちろん、従業員をはじめステークホルダーの皆様のお力添えがあってこそのものであることは言うまでもありません。皆様に心からの感謝を申し上げたいと思います。

加えて、経営の基本方針である「五つの心得」の下、自分たちの足元を見据えて基礎を固めるための取り組みにも力を入れてきた1年でした。

特にグローバルでCSRを強化するために、社会的責任に関する国際規格であるISO26000※に基づいた分析を実施、今後率先して取り組むべき課題を抽出・確認いたしました。さらに、海外も含めた各拠点にCSR活動の啓発と現状把握を主導する「CSRオフィサー」をそれぞれ任命し、グローバルでのCSRマネジメント体制も強化しています。

また、社内だけでなくサプライチェーン全体でCSRを強化していくことが、当社に求められる重要な社会的責任であるという認識の下、国内のお取引先様を対象にCSR調達推進自己チェックシートへの回答にご協力いただきました。今後はこの結果を踏まえたコミュニケーションを積極的に行うとともに、調査対象を海外のお取引先様に拡大するなど、取り組みを強化してまいります。

ミネベア株式会社
代表取締役　社長執行役員　貝沼由久

## 世界の持続可能な発展を支える製品を生み出す

2008年のリーマンショック以降、停滞を続けていた世界経済は、着実に成長路線へと戻ってきました。しかし、人々の生活がより豊かになる一方で、それに伴う気候変動の加速など地球規模の問題への取り組みがより喫緊の課題となっています。世界が持続可能な発展を続けていくために、あらゆる製品において、「安全性の強化」「省エネルギー」「環境負荷削減」などに対するニーズが高まっているのです。さまざまな最終製品に用いられる部品を供給している当社グループでは、こうしたニーズにも対応するべく、「5本の矢」戦略を開始いたしました。

例えば、「複合製品の開発と拡販」戦略を進めるに当たって、ミネベアの持つ超精密加工技術の強みを生かし、省エネや安全・安心を中心とする社会に必要とされる新しい製品を生み出すことができると考えます。

そのための取り組みの一つが、2013年4月に開設した「東京研究開発センター」です。各部門とも横断的に協力し、ミネベアの強みを最大化することにより、お客様にとって付加価値の高い新製品のプロデュースを実現してまいります。

さらに「照明器具関連製品の拡販」戦略においては、より効率的なエネルギー管理の実現に貢献すべく、環境配慮型のスマートビルやスマートシティ用照明の開発への参画も開始いたしました。2014年2月には、岩崎電気株式会社、コイズミ照明株式会社の2社との合弁会社「MIK Smart Lighting Network株式会社」を設立。それぞれの技術を結集させ、今までにない高効率の照明器具の開発などを進めていきます。

## 「真摯なものづくり」を追求し、100周年戦略を進める

私は5年前に当社のトップに就任した際、創立100周年のための基盤をつくることをお約束いたしました。これまでも社会のニーズに目を配り、たとえニッチな分野であっても高い技術力と供給力を武器に、社会の要請に応えてまいりました。こうした姿勢を貫き、幅広い分野で社会に貢献し続けていく「真摯なものづくり」をさらに進化させ、新しいミネベアのビジョンを社会に示すことが当社グループの100周年戦略であると考えております。

その決意を込めて、新中期事業計画において売上高5,000億円、営業利益500億円を達成する（2017年3月期）という大きな目標を掲げました。私は常日頃より従業員に「志の高さとそれを達成しようとする情熱の強さで勝負は決まる」と話しています。当社グループにとってこれからが本当の勝負であるととらえ、コーポレート・メッセージ「Passion to Exceed Precision 精密を超える（ための）情熱」のもと、従業員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

本レポートでは、私たちの事業活動、そしてCSR活動について、さまざまな面からご紹介しています。お読みいただいた皆様からのご意見、ご指摘などをお待ちしております。

※ISO26000：社会的責任に関する国際規格。認証を目的としたものではなく、組織が効果的に社会的責任を実践するための手引。

## 「5本の矢」戦略

### ボールベアリングの外販1億5千万個

ボールベアリングの外販を早期に月平均1億5千万個に引き上げる

### 複合製品の開発と拡販

TRDC（東京研究開発センター）などによるモーターを中心とした新しい複合製品の開発、拡販をおこない、“Electro Mechanics Solutions®”を更に加速する

### 照明器具関連製品の拡販

電子デバイス部門、技術開発部で開発した街路灯を含む照明器具およびその部品の事業基盤を早期に確立し、スマートビルやスマートシティで使用される部品・製品にも参入する

### 計測機器の売上、200億円

計測機器のセンサーとしての機能を再認識した事業戦略に基づき、計測機器関連製品の売上を早期に年間200億円程度に引き上げる

### 航空機部品事業の売上、利益拡大

New Hampshire Ball Bearings, Inc.を中心としたロッドエンド事業などの航空機部品事業のグローバル・プレゼンスを生かしたシナジー効果の最大化により、航空機部品事業の売上、利益の大幅拡大を図る